

フェアトレードの理念を尊重し、その取組を支持する決議

グローバル化の進展は、国際社会の協調意識を高め、経済的恩恵をもたらした一方で、貧困や格差の拡大、環境破壊といった地球規模の問題を深刻化させている。

こうした中、生産者や労働者に対して適正かつ公正な取引条件を確保し、環境への配慮と人権の尊重を基盤とした持続可能な社会の実現に資する取組である「フェアトレード」は近年、国際的な枠組みを越え、地域社会や多様な主体を巻き込んだ広がりを見せており、その社会的意義は一層高まっている。

本市において、フェアトレードの推進は世界と繋がりながら、人にも地球環境にも優しいまちづくりを目指す上で欠かせない取組である。また同時に、世界の現状や国際社会の課題について市民と共に考える機会をもたらし、次代を担うグローバルな視点を持った人づくりにも資するものである。こうした意義を市民一人一人が深く理解し、日常生活の中で「エシカル（倫理的）消費」を実践していくためには、継続的な普及啓発が欠かせない。そのため、本市では部局横断的にこの取組を推進するとともに、市民、民間事業者及び関係団体等との協働による推進体制をさらに強化することが求められる。

このような中、昨年2月には、本市と産学民の連携による「千葉県フェアトレードタウン推進協議会」が設立され、啓発活動やフェアトレード産品を取り扱う店舗数の拡大に向けた動きが加速している。とりわけ市内大学をはじめとする若者たちが、キャンパス内での販売を行うなど先導的な役割を果たしており、次代を担う世代を中心に、その理念は着実に浸透しつつある。

また、本市が特に注力しているのは、開発途上国の生産者や労働者の生活水準向上を目指す「インターナショナル・フェアトレード」、地域の生産者や産業の持続可能性を支える「ローカル・フェアトレード」、障害のある方が携わる製品やサービスを適正な価格で取引する「チャレンジド・フェアトレード」の3つの柱である。

これらは、公正な国際取引の推進による貧困削減や持続可能な開発への貢献に加え、「地産地消」を通じた地域経済の活性化や、障害のある方の自立及び社会参加の支援という重要な意義を有しており、環境保全や共生社会の実現にも寄与する取組である。

よって、本市議会は、フェアトレードの理念を尊重し、その取組を強く支持する。
以上、決議する。

令和8年3月17日

千葉県議会